



The Pocket Console@ DMX

BEST BOY-2 Pocket Console DMX with Playback-8

操作マニュアル



目次

[目次](#)

[1. パッチモード](#)

[1.1 パッチモード](#)

[1.2 パッチ解除方法](#)

[2. チャンネルモード](#)

[3. レコードモード \(Rec\)](#)

[4. プレイバックモード \(PLA\)](#)

[3. ACアダプター / 乾電池](#)

[3.1 乾電池使用について](#)

[3.2 ACアダプター使用について](#)



1. パッチモード

1.1 パッチモード

1. 本体右にあるOFF/ON電源スイッチをONにし、NORMAL/PATCHのスイッチのPATCHをお選びください。
2. Dimmerディプレに001と画面に表示されます。NEXTかLASTボタンを使い、アドレスを選択します。
3. フェーダの下にあるBUMPボタンを押すと、表示されているアドレス番号がフェーダにパッチされます。
 - 合計で512アドレスを各チャンネルフェーダにパッチする事が可能です。
 - パッチされているフェーダにはLEDインジケータライトが点灯します。
 - フェーダ下部のLEDインジケータライトはパッチがされているという表示であり、フェーダのレベルやBUMPボタンが有効になっている等の表示ではありません。
 - パッチモードの時でもDMX信号は常に送られています。
 - 変更後、瞬時に変更されたパッチ情報を元にDMX信号が出力されます。

1.2 パッチ解除方法

パッチを解除するためにはUNPACTHボタンを押し、パッチを解除したいフェーダの下にあるBUMPボタンを押してください。

2. チャンネルモード

本体右にあるOFF/ON電源スイッチをONにし、NORMAL/PATCHのスイッチのNORMALをお選びください。ディスプレイに何も表示されていない場合がチャンネルモードとなり、マニュアル操作でパッチされたチャンネルを操作することができます。

3. レコードモード (Rec)

レコードモードをご使用になる前に、各フェーダーにアドレスがパッチされていることを確認してください。[NEXT]と[LAST]を同時に長押しして、Recと表示されるまで[NEXT]と[LAST]ボタンを押し続けて下さい。

レコード作業方法

1. フェーダーをあげて、記憶したいシーンを作ってください。
2. インジケータライトがONになるまで、[UNPACTCH]ボタンを長押ししてください。
3. フェーダーの下にある[BUMP]ボタンを押して、フェーダーにシーンをスナップショット記憶させます。

4. プレイバックモード (PLA)


- [NEXT] と [LAST]を同時に長押しして、PLAと表示されるまで[NEXT]と[LAST]ボタンを押し続けて下さい。
- 各フェーダーをサブマスターとしてお使いいただけます。
- レコードモードで記憶させたスナップショットの再生ができます。
- フェイダーレベルは記録された時のレベルを最大値とします。
- HTP制御です。



パッチモード以外のモードの場合、ディスプレイがパッチモードに比べ、暗くなります。これは電池を節約する為ですので故障ではありません。

3. ACアダプター / 乾電池

3.1 乾電池使用について

-  電池の液漏れを防ぐ為に、常に新しい電池とのご使用をお勧めします。
- 充電式の乾電池のご使用は可能ですが、コンセントから電源を受けても、充電する仕組みにはなっておりません。(オーバーヒートを避けるため、コンセントから電源をうけると自動的に乾電池側が絶縁される設定になっています。)
- ディスプレイ画面の右下にあるLEDの●があり、電池の残量を示すものです。点滅している場合は、電池残量が少なくなっているので、交換が必要です。

3.2 ACアダプター使用について

- 乾電池を使用せず、付属のACアダプターのみでご使用の場合は電池ケースがマザーボードとショートを起こさないように、ターミナルをビニールテープ等で固定して下さい。